番号-所属	番号-通番	事 業 名	担当課名
1140640	1	病院事業	病院政策課
1140640	2	院内保育所事業	病院政策課
1140660	1	看護師養成所事業	看護専門学校

事業評価シート(令和7年度事業)

番号	1140640 _ 001

【1.基本情報】

事業名	病院事業								
担当部名	市民病院					担当課名	病院政策課		
実施方法	直営		補助等の種類				実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	16	年度 ～			年度	根拠法令・関連計画	医療法、健康保険法等・岐阜県保健医療計画等	

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)		市民の生命を守る病院として、先進的かつ高度な医療を提供する
内容(アクティビティ) (手段・手法など)		・内科、外科など29の診療科目を標榜する総合病院として、一般病床505床、精神病床50床、計555床を有する。 ・岐阜圏域全体の急性期医療の中心的役割を担っている。 ・地域医療支援病院、紹介受診重点医療機関、地域がん診療連携拠点病院、地域災害拠点病院、DMAT指定病院、認知症疾患医療センター(基幹型)、がんゲノム医療連携病院として、地域の中核病院としての役割を担っている。
事業の対象	何を	先進的かつ高度な医療を
	誰に	治療を要する患者に
	どのくらい	適切かつ最善の医療を提供する
前年度からの改善点 (継続事業の場合)		―

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	10,434,499	324,053	11,185,942	339,998	11,594,317	350,281
ﾊﾟｰﾄﾀｲﾑ会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
ﾊﾟｰﾄﾀｲﾑ会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	10,434,499	324,053	11,185,942	339,998	11,594,317	350,281

(2)事業費

	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)	令和7年度(千円)
予算額(B)	13,762,037	14,585,923	14,511,598
決算額(C)	11,297,154	12,771,712	13,063,084
差額(B-C)	2,464,883	1,814,211	1,448,514
執行率(C/B)	82%	88%	90%

(3)総コスト

	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)	令和7年度(千円)
総事業費(D)=A+C	21,731,653	23,957,654	24,657,401

【4.収入】

	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)	令和7年度(千円)
予算額(E)	307,468	345,983	334,545
決算額(F)	469,791	334,444	666,112
差額(E-F)	-162,323	11,539	-331,567
執行率(F/E)	153%	97%	199%

【5.収支(インプット)】

	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)	令和7年度(千円)
市負担額一般財源(D-F)	21,261,862	23,623,210	23,991,289

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	1日当たり入院患者数＋1日当たり外来患者数	単位	人

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	1,820	1,807	1,708
実績値	1,683	1,663	1,643
達成率	92.5%	92.0%	96.2%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	先進的かつ高度な医療を必要とする患者に対して、継続的に質の高い医療を提供するための安定した経営		
指標	医業収益（税抜）	単位	百万円

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値（以上）	23,477	24,673	24,197
実績値	20,707	20,803	21,831
達成率	88.2%	84.3%	90.2%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数		評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 （評価基準に適合することを示す具体的な数値等）
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5	ニーズが高く必要性が高い（データを明記）	入院患者数や外来患者数が示すとおり、市民の生命を守る病院として、先進的かつ高度な医療や救急医療を提供しており、市民・社会のニーズに合っている。 特に、新規入院患者数は、R2年度12,909人からR7年度14,448人、平均在院日数が、R2年度11.3日からR7年度10.0日となっており、在院日数を短縮し高回転で多数の新規入院患者を受け入れていることから必要性は高い。
			3	ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1	必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5	制度の主旨等から市以外が実施できない	公立病院として、小児医療、精神科医療を含む幅広い医療を提供するとともに、災害時における救命医療を提供する機能を整備しており、市が担う必要性は高い。
			3	市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1	市が実施する必要性はあまり高くない	
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5	効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している（金額を明記）	提供した医療サービスの対価として、国が定める診療報酬を得ている。また、専門的な知識を必要とする業務や、民間のノウハウを活用することでより質の高いサービスが提供できると考えられる業務については業務委託を実施し、効率性を高めている。
			3	効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
			1	効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5	データの比較などにより、因果関係を示すことができる（データの分析内容を明記）	岐阜圏域全体の急性期医療の中心的役割を担う病院として、地域の医療機関との機能分化・連携を強化することにより、紹介患者数が増加するとともに、紹介率・逆紹介率が年々上昇している。入院・外来患者数は前年度との比較では減少しているが、機能分化により診療単価が入院、外来ともに上昇しており、医業収益も増加している。
			3	相関関係を示すデータがある	
			1	つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	12／15	達成率20%ごとに1点(100%まで) （実績のないものは直近の達成率により計算）		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5	将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	公立病院として、地域の医療機関と連携し、幅広い医療を提供するとともに、様々な機関指定により、地域の中核病院としての役割を担っており、将来にわたり地域の医療を支える必要な事業である。
			3	将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1	将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	10	10	未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想に定める「いのちを支える安心の医療体制」に関わる地域の中核病院としての役割を果たしている。
			8	未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5	事業が市の各種計画に定められている（計画名を明記）	
			3	事業の一部が市の計画に関係している（計画名を明記）	
			1	事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

	令和5年度		令和6年度		令和7年度		方向性基準 （基準点を満たすものから選択）
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
総合評価		現状維持	41／50	継続	41／50	継続	・40点以上：拡充 ・25点以上：継続 ・15点以上：改善 ・0点以上：縮小・廃止
評価理由	公立病院として、地域の医療機関と連携し、幅広い医療を提供するとともに、様々な機関指定により、地域の中核病院としての役割を担っていることから、地域の医療を支える必要な事業である。						

事業評価シート(令和7年度事業)

番号	1140640 _ 002

【1.基本情報】

事業名	院内保育所事業								
担当部名	市民病院					担当課名	病院政策課		
実施方法	直営		補助等の種類				実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	47	年度 ～			年度	根拠法令・関連計画	児童福祉法 等	

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)		市民病院勤務職員の子どもを保育する
内容(アクティビティ) (手段・手法など)		市民病院　院内保育所 子どもの保育にあたる保護者が市民病院で勤務することにより、家庭で保育することが出来ない子どもを保育する
事業の対象	何を	保育サービスを
	誰に	病院職員が養育する生後57日～小学校就学前までの乳幼児に
	どのくらい	保育時間:通常保育　7:45～18:00(月～土曜日)、延長保育　18:00～20:00(希望者) 夜間保育　20:00～翌日7:45 (毎週月曜日・金曜日、希望者)
前年度からの改善点 (継続事業の場合)		―

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	54,145	1,682	59,264	1,801	70,571	2,132
ﾊﾟｰﾄﾀｲﾑ会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
ﾊﾟｰﾄﾀｲﾑ会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	54,145	1,682	59,264	1,801	70,571	2,132

(2)事業費

	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)	令和7年度(千円)
予算額(B)	5,289	4,838	9,403
決算額(C)	3,563	3,042	6,757
差額(B-C)	1,726	1,796	2,646
執行率(C/B)	**67%**	**63%**	**72%**

(3)総コスト

	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)	令和7年度(千円)
総事業費(D)=A+C	**57,708**	**62,306**	**77,328**

【4.収入】

	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)	令和7年度(千円)
予算額(E)	9,810	9,810	11,880
決算額(F)	9,713	8,018	8,492
差額(E-F)	97	1,792	3,388
執行率(F/E)	**99%**	**82%**	**71%**

【5.収支(インプット)】

	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)	令和7年度(千円)
市負担額一般財源(D－F)	47,995	54,288	68,836

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	利用児童数（月平均）		単位	人
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	25	25	25	
実績値	18	15	14	
達成率	72.0%	60.0%	56.0%	

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	子育てしながら働く市民病院職員のサポートおよび育児休業等取得者の早期復帰			
指標	年間利用職員数（通常・短期）		単位	人
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値（以上）	40	40	40	
実績値	25	20	21	
達成率	62.5%	50.0%	52.5%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準		根拠となるデータ等・評価の説明 （評価基準に適合することを示す具体的な数値等）
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5	ニーズが高く必要性が高い（データを明記）	子育てしながら働く市民病院職員をサポートするために必要である。
			3	ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1	必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5	制度の主旨等から市以外が実施できない	市民病院に至近であること、保育時間等の条件が病院職員の勤務形態に対応している点から必要性が高い。
			3	市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1	市が実施する必要性はあまり高くない	
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5	効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している（金額を明記）	離職防止、復職支援に効果的で、病院職員の安定確保が図られるなどの効果がある。
			3	効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
			1	効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5	データの比較などにより、因果関係を示すことができる（データの分析内容を明記）	利用者数は前年度に比べ減少しているが、新保育所の完成後は育児休業者の早期復帰など利用者増が見込まれる。
			3	相関関係を示すデータがある	
			1	つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	7／15	達成率20%ごとに1点(100%まで) （実績のないものは直近の達成率により計算）		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5	将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	保育所を充実することで、育児休業等取得者の早期復帰が見込まれるとともに、職員採用における強みにもなり医療従事者確保につながる。
			3	将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1	将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10	未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想に定める「いのちを支える安心の医療体制」を継続していくために、市民病院の医療従事者の確保、離職防止につながる必要な事業である。
			8	未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5	事業が市の各種計画に定められている（計画名を明記）	
			3	事業の一部が市の計画に関係している（計画名を明記）	
			1	事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】　（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

	令和5年度		令和6年度		令和7年度		方向性基準 （基準点を満たすものから選択）
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
総合評価		拡充	32／50	継続	32／50	継続	・40点以上：拡充 ・25点以上：継続 ・15点以上：改善 ・0点以上：縮小・廃止
評価理由	市民病院の医療従事者の確保、離職防止につながる必要な事業である。						

事業評価シート(令和7年度事業)

番号	1140660 _ 001

【1.基本情報】

事業名	看護師養成所事業								
担当部名	市民病院					担当課名	看護専門学校		
実施方法	直営		補助等の種類				実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	47	年度 ～		年度	根拠法令・関連計画	保健師助産師看護師法、学校教育法等		

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)		対象に寄り添い、多様な場の状況に合わせた看護を創造できる看護師の育成
内容(アクティビティ) (手段・手法など)		岐阜市立看護専門学校(昭和47年4月開設)(准看護学校から移行) 3年課程、看護学科、入学定員35名、総定員105名 在学者数99名(1年35名、2年29名、3年35名)(令和8年4月現在)
事業の対象	何を	看護師に必要な知識及び技術を
	誰に	本学学生に
	どのくらい	教育課程 112単位 3,060時間
前年度からの改善点 (継続事業の場合)		令和7年4月時点 在学者数101名(1年28名、2年35名、3年38名) 令和7年度卒業生35名

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	97,289	3,021	95,955	2,917	94,156	2,845
ﾊﾟｰﾄﾀｲﾑ会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
ﾊﾟｰﾄﾀｲﾑ会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	97,289	3,021	95,955	2,917	94,156	2,845

(2)事業費

	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)	令和7年度(千円)
予算額(B)	45,334	41,747	22,698
決算額(C)	32,723	35,271	20,522
差額(B-C)	12,611	6,476	2,176
執行率(C/B)	72%	84%	90%

(3)総コスト

	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)	令和7年度(千円)
総事業費(D)=A+C	130,012	131,226	114,678

【4.収入】

	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)	令和7年度(千円)
予算額(E)	12,761	13,114	12,270
決算額(F)	12,887	12,347	9,497
差額(E-F)	-126	767	2,773
執行率(F/E)	101%	94%	77%

【5.収支(インプット)】

	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)	令和7年度(千円)
市負担額一般財源(D－F)	117,125	118,879	105,181

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	卒業生の人数		単位	人
	令和5年度	令和6年度		令和7年度
目標値	35	35		35
実績値	34	35		35
達成率	97.1%	100.0%		100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	看護師の確保			
指標	卒業生のうち市民病院への就職者数		単位	人
	令和5年度	令和6年度		令和7年度
目標値（以上）	16	16		16
実績値	15	17		16
達成率	93.8%	106.3%		100.0%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準		根拠となるデータ等・評価の説明 （評価基準に適合することを示す具体的な数値等）
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5	ニーズが高く必要性が高い（データを明記）	アウトカム評価のとおり継続的に看護人材を育成し、市民病院及び地域の医療環境の充実に寄与している点で必要性は高い。
			3	ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1	必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5	制度の主旨等から市以外が実施できない	市民病院をはじめとした地域医療機関にとって、地域における看護師の安定確保の面から必要である。
			3	市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1	市が実施する必要性はあまり高くない	
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5	効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している（金額を明記）	看護師の育成と共に市民病院の人材確保が図られるなどの効率化が図られている。
			3	効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
			1	効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5	データの比較などにより、因果関係を示すことができる（データの分析内容を明記）	毎年30名程度の卒業生を安定的に輩出、うち市民病院への就職者は15名程度である。引き続き市民病院と連携し、市民病院へ入職を希望する卒業生の増加を図っていく。
			3	相関関係を示すデータがある	
			1	つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	14／15	達成率20%ごとに1点(100%まで) （実績のないものは直近の達成率により計算）		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5	将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	看護人材を育成し、市民病院及び地域の医療環境の充実に寄与しており、今後も必要な事業である。
			3	将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1	将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10	未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想に定める「いのちを支える安心の医療体制」を継続していくためには必要な事業である。
			8	未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5	事業が市の各種計画に定められている（計画名を明記）	
			3	事業の一部が市の計画に関係している（計画名を明記）	
			1	事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】　（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

	令和5年度		令和6年度		令和7年度		方向性基準 （基準点を満たすものから選択）
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
総合評価		現状維持	40／50	継続	39／50	継続	・40点以上：拡充 ・25点以上：継続 ・15点以上：改善 ・0点以上：縮小・廃止
評価理由	看護師育成は、市民病院をはじめとした地域医療機関にとって非常に重要であることから、継続して実施していく。						